

KOKUSAI KOTOBAGAKUIN
学校法人 国際ことば学院

学校法人 国際ことば学院 法人本部事務局

〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-2-12

TEL:054-286-0788 FAX:054-260-7836

「目指せ！世界のリーダー」

2023年、国際ことば学院外国語専門学校は大きく変わります。

中国語・韓国語の授業がボリュームアップした「外国語学科」。

留学生の就職のチャンスがさらに広がる「ビジネスコミュニケーション学科」。

語学力やビジネスの知識、そしてコミュニケーションスキルを身につけて

「あなた」というたったひとつの個性を日本で、世界でアピールしてみませんか？



来年15周年を迎える国際ことば学院外国語専門学校が、これまでの「マルチリンガルビジネスコース」「グローバルコミュニケーションコース」を2022年度入学の学生で終了、2023年度の1年生からは「外国語学科」「ビジネスコミュニケーション学科」になります。

まずは「外国語学科」についてですが、卒業後に韓国・中国への留学を希望する学生が増え、より高い語学力の習得を目指すため、外国語の時間数を大幅に増やしました。メイン言語は「中国語」か「韓国語」を選択。集中的に勉強し、高いレベルの語学力を身につけます。また語学だけでなく中国・韓国の文化を学ぶ授業もあり、ネイティブの先生からの“生の”情報が得られます。さらに第2外国語は「英語」「中国語」「韓国語」からメインで選択した言語以外のものを選択。2か国語を学ぶことで、語学力だけでなくよりグローバルな視点が持てるようになります。

それから「ビジネスコミュニケーション学科」は、ビジネス日本語、英語に加え、マーケティングや簿記、貿易、会計などのビジネス科目を増やし、留学生の就職のチャンスがこれまでよりもずっと広くなりました。また、留学生だけでなく「留学生と一緒にビジネスを勉強して世界で活躍できる人になりたい」と考えている日本人にもおすすめです。日本にしながら留学生生活を体験しているような環境で、多くの気づきや経験が得られることでしょう。さらに、キャリアプランニングの授業では就職に必要な準備や心構えを学び、学外の企業とコラボした授業も行っていく予定です。



いかがでしょうか。この専門学校でぜひ勉強してみたいと思ってくれる人が少しでも増えたら嬉しいです。この15年の間、専門学校は地域の方々とかわりながら、少しずつですが日本や世界で活躍する卒業生を増やしてきました。新コースがスタートすることで、今後はさらに地域のリーダー、世界のリーダーとなる学生を輩出していけたらと思っています。

外国語専門学校 学科長 堀場裕司

10月から出願受付が開始し、10月15日（土）に第一回入学試験が行われました。2023年度から新しく韓国語や中国語をメインに勉強する「外国語学科」と、日本での就職を目指す「ビジネスコミュニケーション学科」の2学科を設けます。その記念すべき第一期生として2023年度を新コースと共にスタートしてくれる新入生を待っています！今後の詳しい入試スケジュールはホームページをご覧ください。（山田）

ホームページはこちらから



「한국어 말하기 대회」 見事に金賞を受賞!!

神奈川、静岡、山梨の三県が参加する神奈川韓国総合教育院主催の「第20回神奈川韓国語スピーチ大会」に森井愛音さん(M1A)がプレゼンテーション部門に出場し、大賞の次となる金賞を受賞しました。本人の努力はもちろんのこと、鄭淑然先生の熱心なご指導があってこそその結果だと思います。主催者の神奈川韓国総合教育院は在日同胞たちの教育と日韓文化の相互理解教育の促進のために韓国政府の支援金などで構成された機構で、この大会との付き合いは4年前の第16回目からになります。第16回目は3人の学生が参加してそれぞれ、銅賞、人気賞、奨励賞を受賞しました。第18回目は1人の学生が参加して大賞を獲りました。そして今年の金賞に繋がりました。これからも沢山の韓国語学習者がこのような場で活躍できるようにしていきたいです。（小林）

就職支援室より

就職活動も後半戦に入り、内定を頂く学生が少しずつ増えてきました。その中で日本人学生は今年度も100%の内定となり一安心しています。また、今年度はコロナの感染状況を見ながらですが、職場見学も再開することができ地元静岡はもちろん、神奈川県や愛知県に学生と一緒に訪問して実際に働くイメージの確認や卒業生との座談会を行うことで、就職してからのミスマッチ防止につながる活動もできています。※写真はその時の様子です。（山西）

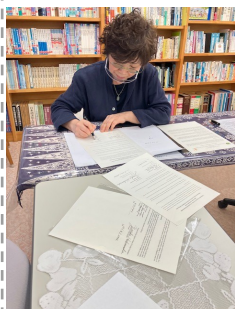


日本語で想い伝えます！スピーチコンテスト

9月22日（木）専門学校校内にて日本語スピーチコンテストが行われました。インドネシア、スリランカ、ドイツ、ミャンマー4か国6名の学生がエントリーし、全校生徒に向け発表してくれました。環境問題や技術の進歩など社会問題をテーマにしたもの、自らの実体験をもとに自己の成長や人間関係について語ったもの、クラス活動をアニメ「ワンピース」になぞられて表現したもの、戦争から平和への世代を超えた物語まで、多種多様な発表が続きました。日本語という共通言語に乗せて、普段教室では聞くことのできない発表者のそれぞれの思いが、多くの人の心に届いたのではないのでしょうか。（松井）

実践大学と2+2（三年次編入）の提携

去年入学した日本人学生の半分は中国語専科に在籍しており、その中の数人は留学を希望しています。今年度に入り提携先を選ぶ中、数年前から本校の学生が参加していた「夏CAMP」主催の実践大学が浮上しました。具体的な互換単位の確認を経て、10月には「DUAL DEGREE AGREEMENT(提携契約書)」署名への運びとなりました。これにより、中国語専科の学生が実践大学3年次編入が可能になりました。今回、中華圏の大学との初の提携となり、これから台湾留学を目指す学生の募集に期待がかかります。（小林）



JAPANESE LANGUAGE SCHOOL 国際ことば学院日本語学校

日本語でインタビュー

9月27日、30日、Jクラスでは日本人の方にインタビューを行いました。授業で敬語を学び、その活動として実際に日本人の方5名に学校まで来ていただき、色々な質問をさせていただきました。初対面の日本人の方と話すのは緊張したようですが、とても楽しかったと言っていました。日本人の方からは、「恥ずかしがらずに、どんどん日本語を話してください。」など、多くのアドバイスをいただき、学生にとって学びの多い時間になりました。ご協力くださいました皆様、誠にありがとうございました。（村田）



待ってました！7月生入学式



9月10日に、来日遅れの4月生・7月生、合わせて49名を迎えての入学式が行われました。新入生代表として、キカさん（インドネシア出身）が挨拶をしました。在校生代表のピョーリンさん（ミャンマー出身）からは、「どんなに壁にぶつかっても前を向き続けること、今日の努力は、未来の成功。」と、熱いメッセージが送られました。（望月）



オープニングはネパールのイシャさんのダンス

入試シーズン到来！

2年生は卒業後の進路に向けて準備が進んでいます。AO入試も始まり、いよいよこれからが本番です。早速Cクラスのアハドさん（右：バングラデシュ出身）とザーさん（左：ミャンマー出身）は、進学先から合格通知が届きました。他の皆さんも合格に向けて、頑張りましょう！（中村）



「世界の子供劇場」に参加しました

8月4日、グランシップで行われた「世界の子供劇場」に有志の学生が参加し、子供たちと一緒に遊んだり、駄菓子を売ったりするお手伝いをさせていただきました。

子供たちに大人気！Bクラスのシャンさん（バングラデシュ出身）の感想

国にいた時から子供と遊ぶのが好きだったので参加してみようと思いました。ことばが通じなくても、一緒に2時間くらい遊んだり、パントマイムのショーを見たりして楽しかったです。

新しいおもちゃに興味を持って、お母さんにおねだりする様子は、どこの国でも変わらないなと、思いました。



クラスにお邪魔します

1年生、LクラスとOクラスの活動を紹介します！

Lクラスでは、自分のふるさとを紹介する作文を書きました。さらに、その作文をもとにしたふるさと紹介の発表会を行い、クラス投票の結果、インドネシアのフィルダさんが見事優勝しました。

他の学生の発表も色々な工夫がされていて、発表会はさながら「ミニワールドツアー」のようでした。（藤井）



フィルダさんのふるさと紹介ムービーはこちら！

Oクラスでは、学生が自分の国の料理をレシピにして紹介しました。料理で使う様々な日本語を学びながら、一生懸命書き上げました。ミャンマー出身のモーさんは、「バジル鶏にんにく」の料理を紹介しました。とうがらしは、10本以上いれるとおいしいそうです。辛そう！！（市川）



こちらからモーさんのレシピをご覧ください

だい かい かんしゃさい
 第8回 感謝祭


9月19日、富士市交流プラザにおいて、3年ぶりにお客様をお招きして開催しました。当日は天気が不安定な中、卒業生、バイト先、そしていつも交流してくださる多くの皆様がご来場くださいました。感謝申し上げます。今回のサブタイトルは「新しい自分」、たった12人の2年生の先輩と、多くの新入生が「新しい自分」を発見する機会にしたいと願いを込めました。

☆オープニング☆

恒例、全員参加のオープニングが始まり、学生は自分が書いた漢字のプレート掲げ、富士サンバに合わせ、ステージ上に笑顔いっぱいモデルのように登場。会場は大きな拍手に包まれ幕があがりました。

☆スピーチコンテスト☆

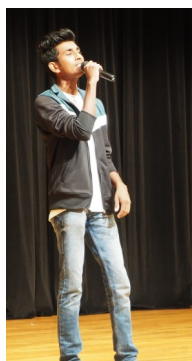


今年は6名の学生が出場。どのスピーチも「自分の人生・感情・考え」を大切にしたい内容で、自らの経験に基づいたものでした。「自殺」「針のような鋭い言葉」「心のコブ」など、ドキッとするような表現が聞く人をくぎ付けにしました。普段、ニコニコと笑っている学生たちの心の中を垣間見たような気がしました。彼らが背負っている「家族」「将来」「問題」を感じ、そんな中でたくましく日々を過ごしているのは、この発表者だけではないとも感じました。緊張気味の発表者を会場のお客様、学生たちが温かな拍手で励ます場面もありました。発表者が一生懸命練習してきた姿を知って



いるからこそだと思います。今回は、途中にリラクスタイムを設け、ランズさん(ネパール)が高く美しい声で日本語の歌を、その後ニルタさん(ネパール)とともに見事なハーモニーを奏でてくれました。歌にスピーチに心打たれるコンテストとなりました。

全て終わり、審査員の皆様も甲乙つけがたく、審査は難航しました。そして、見事、最優秀賞を獲得したのはネパールのプリヤさんでした。次にそのスピーチをご紹介します。(別紙)



お楽しみ企画～♪ 審査の間、6組の学生達が楽しませてくれました。ネパール、スリランカは美しい民族衣装で踊り、華やかなステージとなりました。インドネシアはバンド演奏で母国語と日本語がミックスされた流行の歌を披露。マドウランガさん(スリランカ)は自分のYouTubeチャンネルを持つほどで、普段は寡黙な彼がまるで歌手のようでした。Aクラスの「赤ずきんちゃん」の芝居は独創性にあふれ、笑い声が沸き起こっていました。最後にネパール二人組が軽快な音楽に合わせてヒップホップダンスを披露。会場は再び大きな盛り上がりを見せました。お客様と学生が大いに楽しみ、久しぶりに心と心が通い合える時間が過ぎたと感じました。改めまして、審査員の方々ははじめ、ご来場の皆様に感謝申し上げます。



教育実習生との交流

8月の下旬から9月の中旬にかけて、天理大学と帝塚山大学の学生さんが教育実習にいらっしゃいました。アルバイト先以外ではなかなか同年代の日本人との交流を持つ機会は少ないので、留学生のみんなにとっても、良い刺激になったのではないかと思います。実習生の皆さんからも、外国人や日本語学校の現状の一端と教えることの楽しさと難しさを知り、貴重な体験となったとの感想をもらいました。今後、日本語教育の分野で、あるいはそれ以外の分野でも、今回の実習を役立て、活躍していくことを期待しています。

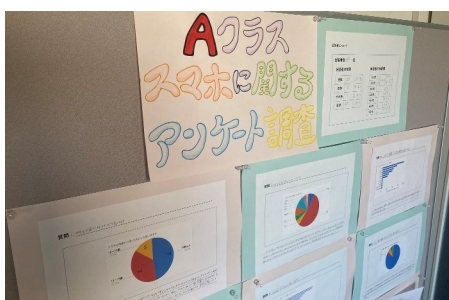


どんな勉強やってるの？

日本人アンケート調査

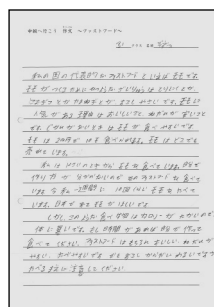
授業の一環として、自分の身近な日本人の方に、アンケート活動を行いました。

簡易的ではありますが、質問項目の検討、Googleフォーム作成、グラフ化、分析という一連の流れを体験してもらいました。中にはわざわざ駅まで行って、歩いている方をお願いした人もいたようです。情報の収集と活用は、現代社会における重要なスキルとなるので、この経験をぜひ少しでもどこかで役立ててもらえたらと思います。



私の国のファストフード

今年度4月から6月にかけて入学してきた一年生も、早いもので10月から初中級のクラスが始まりました。この学習段階は急に覚えることが増えたり、意味が複雑になったりと、壁にぶつかってしまう学生も多い段階ですが、ぜひここをあきらめずに乗り越えて、12月の日本語能力試験に臨んでほしいと思っています。今回はそんな一年生が授業で書いた作文を紹介します。



ネパール人

ディネシュさん

(作文は添削前)



進路状況報告



秋学期に入り、いよいよ進路に向けて本格的に動き始めるシーズンに入っていました。今年度も4月ごろから個々の学生と面談を重ね、徐々に的を絞ってまいりました。すべての学生が新天地でよいスタートが切れるよう、最後までサポートをしたいと思っています。

進路決定者（22/10/13時点）

卒業予定者 8名中

進路決定者 2名

（短大1 就職1）

進路未定者 6名（大学1 専門3 未定2）

学校法人 国際ことば学院 お知らせ

国際ことば学院外国語専門学校入学案内

◆学校説明会

【午前の部：10：30～11：30】

【午後の部：13：00～14：00】

①11月 5日(土) ②12月10日(土)

③ 1月21日(土) ④2月18日(土)

①～③午後のみ④午前のみ

◆入学試験

11月 5日(土) 出願締切：10月27日(木)

12月10日(土) 出願締切：12月 1日(木)

1月21日(土) 出願締切：1月12日(木)

これから受験ができます！！

お問い合わせお待ちしております→ ask@kotoba.ac.jp

静岡県庁研修員のご紹介



数年前よりお受けしている静岡県庁外国人研修員の日本語研修ですが、今年度は9月からブラジル人研修員1名が日本語学校で研修しています。ダニロ・ノムラさん、日系ブラジル人です。皆様にご紹介します。



ダニロ・ノムラと申します。

ブラジル、サンパウロ州出身で、1931年にひいおじいちゃんが静岡県からブラジルに移住したので、私は日系3世です。

来年3月まで日本語の勉強とパティシエの研修をします。

私は2014年にサンパウロ大学を卒業してグーグルブラジルでベンダーマネジャーとして働いていました。グーグルはいい会社ですが、その仕事に満足していませんでした。それで2019年にグーグルの仕事を辞めて、ル・コルドン・ブルー・パリでパティシエのクラスを受けました。子供の頃からの趣味、お菓子作りを仕事にすることにしました。

日本の洋菓子に興味を持っていてシュークリームやプリンを作るのが好きです。日本の材料を使った抹茶プリン、味噌キャラメル、ゆずチーズケーキなどのレシピもあります。日本の料理が大好きなので美味しい



デザートをとくさん食べたいです。

ブラジルには約120万の日系人が住んでいて、中でもサンパウロ市は30万人と世界で日系人が一番多い市と言われています。

来年、帰国したら店を開きたいと思っています。その店では日本にあるような美味しいデザートを日系人や日本の文化が好きなブラジル人に提供したいと思っています。

スイーツやデザートが好きな方、おいしいお店をご存知の方、情報をお待ちしております。コロナ禍であってもダニロさんの日本語研修が良きものとなりますようサポートしてまいります。(キャリア日本語事業部 青山)

<編集後記>

金木犀の香りが学校の周りから漂ってくる季節となりました。異常気象、季節外れという言葉が多く聞かれますが、確実に季節が移っているのを感じると、何かに感謝したいような気持ちになります。専門学校では入試が、日本語学校では来年4月生の願書申請の時期となっています。来年も多くの学生と出会うことを教職員一同楽しみにしています。

編集長：望月 / 編集：山田・高松・佐藤

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN GROUP 学校法人 国際ことば学院グループ

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES
国際ことば学院外国語専門学校

〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川3-9-4 TEL:054-270-7091 / FAX:054-286-7091
WEBSITE:<http://sp.kotoba.ac.jp> E-MAIL:ask@kotoba.ac.jp

JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
国際ことば学院日本語学校

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡3-2-28 TEL:054-284-8383 / FAX:054-284-8338
WEBSITE:<http://jp.kotoba.ac.jp> E-MAIL:info@kotoba.ac.jp

MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
富士山日本語学校

〒416-0944 静岡県富士市横割1-6-16 TEL:0545-30-8680 / FAX:0545-30-9558
WEBSITE:<http://fujisan.kotoba.ac.jp> E-MAIL:fujisan@kotoba.ac.jp

YAMATO MAHOROKA JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
大和まほろば日本語学校

〒633-0053 奈良県桜井市谷10-1 TEL:0744-44-2424 / FAX:0744-47-2430
WEBSITE:<http://yamato.kotoba.ac.jp> E-MAIL:yamato@kotoba.ac.jp